

平成19年1月9日

原子力委員会の皆様へ

原子力委員会の新体制の発足に当たって

原子力委員会にご就任された皆様をお迎えするに当たり、歓迎の意を表させていただくとともに、我が国の原子力政策の要である皆様に、私として重要だと考える原子力政策の課題について申し述べたいと思います。

現在、原子力はエネルギー安定供給及び地球温暖化問題への対応の観点から国内外で再評価されています。

原子力委員会は、我が国の原子力政策を着実に前進させていく原動力としてその活躍が期待されており、私としても、我が国の原子力政策が様々な課題を乗り越えていくために、原子力委員会が指導力を発揮することを期待しております。

具体的な当面の課題として、別紙について、原子力委員会において積極的に対応していただくことをお願い申し上げます。

科学技術政策担当大臣
高 市 早 苗

原子力政策への期待

1. 原子力政策の計画的推進と平和利用について

- (1) 閣議決定された「原子力政策大綱」に沿って、原子力政策の着実な推進を図るとともに、その実施状況をフォローし、国民に分かりやすい形で示していただくことを期待します。
- (2) 我が国の原子力平和利用の確保のための取組は、I A E Aでも高く評価されています。今後とも、我が国の姿勢を国内外に示し信頼を得ることが重要であり、しっかりした取組を推進していただくことを期待します。

2. 国際問題への対応について

- (1) 最近では、アジア地域の原子力発電導入拡大や北朝鮮の核実験のように、海外における原子力の「平和利用」や「核不拡散」が注目されています。核燃料供給保証のようなマルチの国際的枠組みについては、我が国の原子力政策にも大きな影響を及ぼす可能性があります。我が国としてもその検討過程に関わっていくことが重要であり、関係各省を取りまとめ、積極的に取り組んでいただくことを期待します。
- (2) 我が国の原子力産業の海外展開については、基本的に推進していくべきですが、相手国における「平和利用の担保」など課題は多々あります。目先のビジネスにあまりとらわれ過ぎることなく、きちんと課題を解決しつつ進めていくよう指導していただくことを期待します。

3. 国民との相互理解の促進

- (1) 原子力政策の推進は国民との相互理解が前提であり、広聴・広報活動に積極的に取り組む必要があります。タウンミーティングでの問題を教訓にしつつも、それに萎縮して、政府と国民との対話が先細りにならないようにしていただくことを期待します。

4. 個別課題

- (1) 高速増殖炉サイクル技術は、長期にわたるエネルギー安定供給等の観点から重要なものであり、先日策定した基本方針が示す明確な目標とその達成に向けた道筋に沿って、関係者がそれぞれの役割を十分認識し積極的に研究開発を推進するよう指導していただくことを期待します。
- (2) プルトニウム利用は、出来る限り透明性を確保し、国民の理解を得て進めることが何より重要です。国民に分かりやすい形でその管理状態や将来の利用計画を公表すべく、関係者と連携してしっかり取り組んでいただくことを期待します。